



くんねっぷ
HOKKAIDO KUNNEPPU TOWN

会 だより 議

175号

町民が安全・安心を
実感できる施策を

一般質問

4

ページ

- 9月定例会で審議した議案……………2
ページ
- 第3回臨時会で審議した議案……………2
ページ
- 行政報告・所管事務調査を実施・
議会広報研修会……………11
ページ
- 議会の主なうごき／あとかぎ……………12
ページ

発行 北海道訓子府町議会
編集 訓子府町議会広報特別委員会

二〇二二年（平成三四年）十一月一日発行



おたさん
筋力を貯める貯筋体操に励む「はっちゃんぎ塾卒業生みなさん」

平成24年 9月 定例会 9月11日～9月12日まで

一般会計7,624万円を補正

平成24年度各会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

一般会計(第3号)

歳入歳出予算に7,624万3千円を追加し、総額を39億555万7千円としました。

■主な歳出内容

- 社会資本整備基金積立金
7,000万円を追加
- 予防接種業務
143万1千円を追加
- 太陽光発電システム導入補助金
140万円を追加

国保会計(第1号)

歳入歳出予算に1,672万円を追加し、総額9億6,602万円としました。

■主な歳出内容

- 国庫支出金返還金
1,647万5千円を追加
- 退職医療交付金返還金
26万6千円を追加
- 後期高齢者支援金拠出金
6万1千円を追加

平成24年第3回臨時会(10月4日)

【議案】

- ◆財産の取得について 【原案可決】
小型ロータリーを(株)日本除雪機製作所から購入することについて同意しました。
・契約金額 3,003万円

【報告】

- ◆専決処分の報告について【報告了承】
公用車の物損事故に伴い、相手方に対する損害賠償額の決定と和解について、報告がありました。
・損害賠償額 18万2千円
・事故の概要
平成24年9月5日(水)午前10時30分頃、弥生169番地先において、小型ロータリーで、町道駒里弥生線の草刈作業中、路肩の砂利を飛散させ、道道北見白糠線を訓子府市街地方向から北見方向へ右折待ちをしていた車両の左側面を破損させる損害を与えた。

【町長からの行政報告(要旨)】

- ◆町内で発生した死亡事故について
9月14日午前7時頃、町内日出町の道道の交わる交差点で乗用車と自動二輪車が衝突し、自動二輪車を運転していた男性が死亡する事故が発生しました。この事故により、「死亡交通事故ゼロの日」は、360日でストップしてしまいました。
- ◆教育費指定寄付金について
10月1日、大町の平野榮一様から、教育の充実のために役立てていただきたいとのことで、100万円の寄付がありました。
これは、平野家が訓子府町に住み始めて100年の節目に当たることを記念しての寄付です。
寄付金につきましては、社会資本整備基金に積立て有効に活用させていただきます。

予算関連質疑応答

太陽光発電システム導入費補助金の追加補正140万円について

Q 住環境リフォーム併用と単独の件数は。

A 現時点で9件分を交付決定して、予備分を含め15件分の予算を見込んでいます。

9件の内2件が住環境リフォーム促進事業と併用、7件が単独の補助となつている。

Q 発電量とパネルの枚数は。

A メーカーや規模により異なるが9・

98kwのものはパネルが64枚で工費が570万円から630万円。

9・88kwのものはパネルが52枚で工費570万円。9・69kwのものはパネルが57枚で工費は500万円。6・66kwのものはパネルが36枚で工費は384万6千円。5・7kwのものはパネルが30枚で工費300万円となつている。

10月1日から平成28年9月30日までの4年間となります。

委員 長 河端 芳恵
副委員長 余湖 龍三
委員 員 西山由美子
" 山本 朝英

人事案件

◆教育委員会委員の任命

原案同意

平成24年9月30日

に任期満了となる教育委員会委員に白崎隆徳さん(旭町・再任)を任命することに同意しました。

任期は、平成24年

10月1日から平成28

年9月30日までの4年

間となります。

◆教育委員会委員の任命

原案同意

平成24年9月30日

に任期満了となる教育委員会委員に林秀貴さん(栄町・新任)を任命することに同意しました。

任期は、平成24年

認定

◆平成23年度一般会計

歳入歳出決算の認定

◆平成23年度国民健康

保険特別会計歳入歳出

決算の認定

◆平成23年度後期高齢

者医療特別会計歳入歳

出決算の認定

◆平成23年度介護保険

特別会計歳入歳出決算

の認定

◆平成23年度下水道事

業特別会計歳入歳出決

算の認定

◆平成23年度水道事業

会計剰余金の処分及び

決算の認定

平成23年度一般会計、

国保会計、後期高齢者会

計、介護保険会計、下水

道会計、水道会計の決算

認定を「決算審査特別委

員会に付託」しました。

◆決算審査特別委員会
の構成
委員 長 河端 芳恵
副委員長 余湖 龍三
委員 員 西山由美子
" 山本 朝英
◆審査日程
11月5日～11月9日
の5日間

報告

□平成23年度財政健全化及び経営健全化の比率

報告了承

平成23年度財政健全

化及び経営健全化の比

率について、8月20日

に審査委員から関係調

書の審査を受け、8月

23日付で「健全化判断

比率及び資金不足比率

の算定基礎となる事項

を記載した書類は、適

正に作成されているこ

とを認めます。

なお、健全化判断比

率も前年度比では、良

好な状況にあるものの、

将来実施事業などを考
慮しつつ、さらなる財
政健全化へ向けての努
力に期待しています。」
との意見があつたこと
を町長から報告があり
ました。

□財政的援助団体の監
査結果報告 報告了承

監査委員から平成

23年度に係る財政的援

助団体の監査の結果、

「補助金に関する事務

については、適正に執

行されているものと認

めます」との報告があ

りました。

○監査対象・まちづく

りパワーアップ特別対

策事業(8月20日実施)

□出納検査結果報告

報告了承

監査委員から7月か

ら9月までの一般会計、

特別会計及び水道事業

会計について例月出納

検査を実施した結果、

出納事務は適法に行わ

れ、異状ないとの報告

がありました。

議決した意見書

一議員提案により次の意見書案が提出され、原案のとおり可決し、政府関係機関に意見書を提出しました。一

- ◆森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する要望意見書
- ◆地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める要望意見書

議員の派遣

◆議員の派遣

決定

議員の派遣を決定しました。

○北網ブロック町議会議員研修会(10月23日 置戸町 全議員)

一般質問

7名の議員が町長、教育長に一般質問を行いました。

町民が安全・安心を実感できる施策を

町長

先進地を基に助成制度や防災マップ

上原 自然災害多発の中、自治体として可能な備えの施策と、住民の命を守る自治体使命の観点から、誰もが医療受診が可能な制度確立を願い、自然災害への備えと、医療費助成制度について伺います。

町長

ハザードマップは、自然災害による被害を予測し、地図化し、予測災害発生地点、被害範囲及び程度、避難に関する資料です。現在配布の洪水ハザードマップは、常呂川・訓子府川の氾濫による浸水をシュミレー



上原議員

ション・作成したもので、地震・土砂災害などの災害避難情報ではありません。先進地では、防災マップ（様々な災害）作成もしており、本町も検討したいと考えています。鹿の子ダムに関して

洪水ハザードマップ (洪水避難地図) 改訂版



平成22年9月 訓子府町

川の氾濫による浸水をシュミレーションした洪水ハザードマップ

は、洪水期の最大貯水量は、15mで2,500万tであり、最大流入量毎秒460t・最大放水量毎秒40tの構造で造られています。

今までの最大流入量は、毎秒94t・最大放水量は毎秒23tです。

放水時、置戸小学校まで2〜3時間で到達し、訓子府頭首工まで3〜4時間と想定され、毎秒20tの放水では川の水位は変わりません。

常呂川堤防の越水は2日間で、189・7mmを想定しているが、境野で平成18年2日間で165mmが最大降雨量となっています。

河川の流量は、立木などの阻害要因を考慮したものではなく、今後河川事務所と協議をします。

災害時の、避難弱者の対応として、単位老人会の希望により50%程度説明をしました。

障がいを持つ方々に対して配慮し、今後避難情報を作成したい。

避難所であるスポーツセンターの耐震化については、国へ補助要請中です。

医療費助成制度については、現状の制度で助成条件緩和をすると対象者が多くなり財政的に厳しく、現制度の見直し継続はなじまないと考えています。

生活保護と医療費扶助のすきまを埋めるのが難しいが、函館市の事例を基に検討し、社会福祉協議会が実施している「福祉資金貸付事業」に町が原資を用意し町民の皆様が、一時的に困った時に対応できる、利用しやすい制度として、平成25年スタートできるよう検討していきます。

いじめ問題への対応は

教育長

早期発見・未然防止に努めていきたい

小林 最近、いじめ問題が頻繁におきていますが対応について伺いたい。

①現時点での学校の取り組み方と対応について。

②教育委員会としての取り組み方と対応について。

教育長 ご指摘のように、滋賀県の中学生自殺問題など、全国的にいじめ問題が多発しており、7月17日付で「文部科学大臣談話」が発表され、取り組みの徹底が都道府県教育委員会に指示されたところではあります。

道教委は昨年度から年2回の児童生徒へのいじめに関するアンケート調査、こうした調査結果などから認知し



小林 議員

たいじめについての各学校における対応調査、いじめ問題への組織的・計画的な取り組み状況などについて、市町村教委を通じ定期的に把握しており、本町の小中学校及び教育委員会としては、これらの取り組みなどを活用しながら対応しております。

1点目の「現時点での学校の取り組み方と対応について」は、年2回のアンケート調査や普段の児童生徒の人間関係などについて把握することによって、いじめの未然防止に努めるとともに、いじめの事実があった場合は問題が大きくなるならぬうちにいじめはどんな理由があっても、人間

として許されないことなどを、丁寧に当事者を交えて話し合いを持ち人間関係の改善に努めることとしています。

2点目の「教育委員会としての取り組みと対応」については、全国の事例を見ても、いじめに関して学校での早期の問題解決が困難な場合、学校のみでの解決にこだわり、問題が表面化されないことが事態を悪化させていると認識しています。

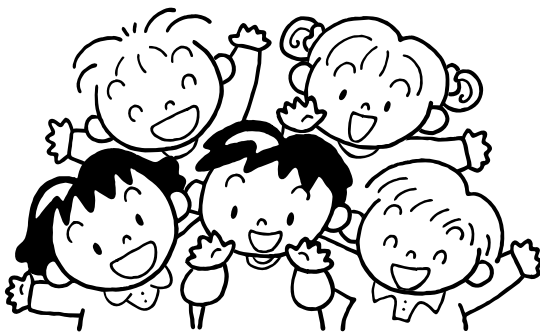
本町教育委員会としては、学校と情報を共有することが最も大切と考えており、月1回実施している校長会議及び随時の校長報告などを通じ、いじめ問題も含めて常日頃から意見交換を行うとともに

状況に応じ教育委員会議において報告し、協議してまいります。

幸いなことに、本町においては深刻ないじめ問題は発生していませんが、いじめは、いつ発生し深刻化しないとも限りませんので、今後とも早期発見・未

然防止に努めてまいります。

※小林議員はこの他に「来年度の予算編成について」の質問がありました。



一般質問の記事掲載について

一般質問の記事については、一質問者につき二問までを掲載し、内容を要約しています。その他の質問事項や詳しい内容については、会議録をご覧ください。会議録は図書館に備えてあります。また、町ホームページにも掲載しております。なお、会議録公開については、議会終了後3ヵ月程度の期間を要します。

安心な医療確保と対策はどうなる

町長

医師会と体制強化 切れ目ない医療確保



佐藤 議員

佐藤 町内唯一の医院となったが、高齢化が進む町として安心の医療の確保はされるのか。

非常に困難を極めるものとの考えから、再開院は、断念せざるをえない状況に至っています。

日赤と関係各町村の医院と連携強化により「切れ目のない医療」の提供を進めたいとの話でした。

入院施設のない町の医院に入院部門の再開に向け支援の考えはないか。

町長 長い間、二医院体制で町民の医療と安心は確保されてきましたが、大変残念ながら今年の8月末をもって「くんねつぷ治恵クリニック」が閉院することとなりました。

一医院での医療の確保については、「訓子府クリニックス」の院長と協議し、「治恵クリニック」が担ってきた部分については、特に問題なく引き受けられるとのことでありました。

訓子府クリニックスは、入院患者を置かず、専門外の診療については日赤や小林病院などに紹介状を書くなどの対応を取っており、すでに2次、3次医療との連携により切れ目のない医療の提供が進められていると考えています。

近年、北見市などでも入院施設を持たない医院が増えており、手術が必要な場合は提携の病院の手術室を借りるなど、共同診療や入院治療を行う開放病床の形態が増えていきます。

平成3年2月から実に21年間、町民の医療に対し大変お世話になりました。

また、北見医師会の古屋会長から「現状では、訓子府クリニックスの伊東院長先生が積極的に頑張らなければならぬ状況であるので、町としても支援を願っていた」との話がありました。

今後、町民の命を守る行政の使命として体制強化に努めます。

また、一医院の負担増による報償金については、院長先生の負担は極めて大きいですが、今後においても、少な

また、北見中央病院のご協力にも心から感謝しているところです。

また、北見医師会の古屋会長から「現状では、訓子府クリニックスの伊東院長先生が積極的に頑張らなければならぬ状況であるので、町としても支援を願っていた」との話がありました。

今後、町民の命を守る行政の使命として体制強化に努めます。

また、一医院の負担増による報償金については、院長先生の負担は極めて大きいですが、今後においても、少な

また、旧医院の空き施設を活用した再開院については、全国的に地域医療の医師不足は深刻な問題であり、現状では招へい活動でも

29日の「新しくなる北見日赤」についての講演で、吉田院長は北見

町赤の改築と町が一

町赤の改築と町が一



町内唯一の医院となった訓子府クリニックス

らず現状維持を考えています。平成25年以降については、関係機関の状況を見て内部で再検討も行う考えです。

※佐藤議員はこの他に「町道末広線の街路樹の管理について」の質問がありました。

クラブ活動費など新3項目実施の考えは

教育長

今後検討していきたい



工藤 議員

工藤 教育の機会均等の趣旨にもとづき、義務教育を受けることができるよう規定しているのが就学援助制度ですが、現在の経済状況から見ても制度の充実とその活用が求められるところと見えています。義務教育の子どもを持つ世帯の経済状況をどのよう

に見ているか。

教育長 全児童生徒に占める支援を要する割合は平成18年度の9・5%から現在14・1%と増加しており、世帯の経済状況は個々様々ではあるが、援助を要する世帯の割合は増加傾向にあります。

工藤 本町の就学援助の認定基準はどうなっているか。

教育長 要保護世帯は

生活保護を受けている世帯、準要保護世帯では経済的に困窮している世帯などで、経済状態が生活保護基準の1・3倍以下で助成が必要と教育委員会が認定した保護者が受けられます。

工藤 今年度から税制改革により、16歳未満の年少扶養控除が廃止になり、住民税の負担も予想され就学援助制度にも影響すると思うが。

教育長 税の控除がなくなることで準要保護世帯にならないことも可能性としては出てきますので、今後精査したり、制度改正の検討に生かしていきます。

工藤 就学援助の支給項目として、クラブ活

動費、PTA会費、生徒会費の3項目を新たに加えることになっていますが実施の考えは。

公会計システムによる情報開示は丁寧により分かりやすいものを作成していく

町長

工藤 平成21年度に導入した公会計システムの目的は何か。

町長 地方分権の進展に伴い、主体的責任ある地域経営がこれまで以上に求められています。内部管理強化と外部への財務情報開示による公的説明責任を果たすことによる住民や議会などの政策形成に有用となることなどが目的としてあげられます。

工藤 この会計システムの情報開示に当たっ

教育長

教育委員会

で検討した経過はあるが財政状況がひっ迫していたことから、実施を見送っていました。

現在の財政状況や近隣の実施状況を踏まえ、今後検討していきます。

※一ロメモ 公会計システムとは

現在の会計制度だけでは、資産や負債の状況がどのようになっているのかの情報が不十分であるとの指摘から、新たな公会計システムは、企業会計的に発生主義と複式簿記の考え方を取り入れた会計制度です。

財務書類として、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「資金収支計算書」、「純資産変動計算書」の4表の作成が必要となります。

ストの最適化を図る資料として、さらに政策形成時における意思決定の際の判断資料のひとつとして活用していきます。

町民への開示に向けては、今後さらに努力してより分かりやすいものを作成していきたいと考えています。



資産管理の適正化等を図るため導入された公会計システム

第3回定例会は、9名の傍聴がありました。

議会を傍聴しましょう

議会中の議場の様子を庁舎1階町民ホールにおいて、テレビでも放映しています。

平成24年第4回定例会は12月中旬頃に開催する予定です。議会傍聴に関するお問い合わせは、議会事務局 ☎47-2184へ

本町の認知症患者と家族への支援策は

町長 早期発見、早期対応が重要

西山 平成24年6月

18日に厚労省は「今後の認知症施策の方向性について」という報告書を公表しました。

その後介護が必要な認知症高齢者が全国で300万人を突破し、この10年間で倍増したとの推計発表がありました。

さて高齢化率が増している本町の認知症患者と介護する家族への支援策について伺います。

本町の認知症患者の実態と抱えている課題は。

町長 認知症患者数の正確な把握は困難だが平成22年度の新規に介護認定を受けた82人の内認知症状がある方は51人で全体の62・

2%。

その内日常生活に支障をきたす症状が見られる方が28人で34・1%です。

平成23年度に65歳以上の高齢者730人を対象にした日常生活圏域高齢者ニーズ調査の結果では、介護認定を受けていない693人の内「物忘れや判断力理解力の衰えがみられ日常生活に支障がある高齢者」に該当する方は185人で26・7%。

その内85歳以上では83人中該当する方が27人、32・5%です。

本町の高齢化率は、平成24年3月末現在、65歳以上1,778人で約32・8%です。

今後、認知症予防対策の更なる取り組みと



西山議員

早期発見・早期対応が課題となっています。

西山 報告書が示す「7つの視点からの取り組み」をどう考えるか。

町長 今後厚労省はこれに係わる施策を実施するために平成25年度からの5年間の具体的な実行計画を予算要求とあわせて策定することとしており、本町として国の動向を見極めながら、関係機関と連携して計画的に認知症対策を推進していきたい。

西山 今後の認知症予防策と家族に対する支援策は。

町長 今後認知症高齢者もますます増えることが想定されることから、今年度新たに認知

症に特化したボランティア講座の「オレンジサポーター養成講座」を社会福祉協議会ボランティアセンターと共催し、平成25年度には広く町民を対象とした認知症予防教室の実施の検討をしています。

家族に対する支援は「認知症サポーター養成講座」の開催や「介護者家族の会」「認知症高齢者等SOSネットワーク事業」等の実施を行っています。

近年認知症の研究が進み、認知症の解明や進行を遅らせる治療法なども普及され、できるだけ早期発見・早期対応が重要となっています。

そのために認知症に対する正しい知識の普及・啓発を十分に行い身近で見守りをしていただける方を一人でも増やしていくことが必要と考えています。



認知症予防や家族に対する支援を担当する地域包括支援センター

西山 もの忘れ外来について教えて下さい。

町長 本町は平成24年6月21日から北見の道東脳神経外科病院と連携をとって、患者と家族の同意を得た上で地域包括支援センターから、当病院の「もの忘れ

外来」に予約し、受診することができます。

その結果は患者だけでなく、地域包括支援センターにも報告され経過を見ながら個別に対応していきます。

マスタープランに対する町民の受けとめは

町長 環境向上に期待が寄せられていると推察

余湖 町民に対し示した「くる・ネツプ周辺

環境整備マスタープラン」に今町民はどう受け止めているかと思いきや。また、町長自身はどのように感じ、将来にどのような思いをえがいているのか。

町長 マスタープランに対し町民がどう受け止めているのかと言うことに関しては、改めて感想などお聞きしていませんので確かなこととは申し上げられませんが、町民の多くは幸町線整備により鉄道跡地で分断されている市街地の南北が一体化し、利便性も高まり鉄道跡地も緑化され、くる・ネツプ周辺の環境向上に期待が寄せられているものと推察しております。

これまで多くの町民の皆様からいただいたご意見を最大限活かして練り上げた手作りのプランでもあり、私なりに満足しております。確かに箱物など目立った施設整備がなく、

町民の中には少々物足りなさ感じられる方もいらつしやると思えます。将来的に、例えば農業と商業が連携して地域内外の人たちをターゲットとした定期的な物産販売、特色ある食メニューの提供、屋

台の outlet、文化芸能イベント開催など町民の方たちのいろいろな活動が展開し、さらに町の情報発信拠点としても活用されることなどを期待しています。今



余湖 議員

後、こうした町民の自主的活動が展開され、関連する施設整備の必要性が生じた場合には施設配置が可能な受け皿がなくてはなりませんので、それらも想定し鉄道跡地の緑地化など面的整備を中心としたものとしています。

余湖 幸町線整備については平成19年当時から各種団体の協議から必要との意見が集約され、均衡ある市街地の発展の観点から町内会要望として東幸町・西幸町から要望の提出もなされ、その後も各種団体との意見交換・意見聴取など代表者との話し合いのもとに今の道路の形も決まったと思います。

ただ幸町線について

は公園を分断する道路の危険性や道路自体を必要としない住民の意見も多数聞くところですが、町として住民に対する説明会などが必ずやあります。

町長 町が行うことに対し全ての町民の賛成はむずかしい。一定の反対もあります。

れらにいていねいに対応し、計画の中に活かしていくのがリーダーの仕事だと思いやつてきました。

今後も望まれば説明に行きますし、個人の方も意見があれば夜間町長室や懇談会などで説明する形はくずしてはけません。



整備が予定されている くる・ネツプ周辺

「議会だより」についてご意見をお寄せください。

議会に対するご意見や、議会だよりを見て感じたことなどどんなことでも結構です。

どうぞ議会事務局までご意見をお寄せください。

☎ 0157-47-2184へ FAX0157-47-2600へ



図書館などの施設整備の優先順位は

町長 限られた財源の中的確に順位づけする

河端 社会情勢がめまぐるしく変わり厳しい財政の中、図書館などの施設整備の優先順位の考え方は。

河端 来春、児童センターの開設が予定されているが、一方では幼稚園・保育園の老朽化が気になります。

町長 これらの施設以外にも多くの懸案事項を抱えており、限られた財源の中の確に順位づけしていきます。

特に保育園は0歳児から預かっています。中には一日10時間も保育園で過ごしているお子さんもあり、保育



河端 議員

環境の整備が必要です。幼保一体化施設の整備をどのように進めていきますか。

町長 町として国や道に対し制度の確立と財政負担軽減について要望を行っています。

幼保一体化施設の取り組みとしては、幼稚園・保育園などの担当者による先進地視察や勉強会を行うなどして本町の将来的な幼保一体化施設のあり方を検討しています。

河端 「訓子府町図書館振興計画」が策定されたが、それを受けて図書館整備をいつ頃どのように行いますか。

町長 図書館整備の時期は、懸案となっている各施設整備、その他の施策との調整を図り

一定の方向性を出しますが、私の今任期中は難しいです。

河端 静寿園の待機者解消対策として増床に向けて訓子府福祉会との話し合いはなされていますか。

町長 本町の高齢者は急増することが見込ま

れ、長期的に増加傾向が予想されています。

「くんねっぶ静寿園」の待機者解消と「ショートステイ」及び「デイサービス」の環境整備の充実が当面の課題です。訓子府福祉会と今後の整備計画について相談をしています。

役場庁舎の省エネ・節電対策は

町長 過去3年間と比較し5%削減

河端 地球温暖化による異常気象のせいか連日30℃を越す真夏日が続きました。

この夏は、計画停電の恐れもありました。

これからも計画的な省エネ・節電対策が求められているが、役場庁舎の省エネ・節電の取り組みと対策をどう考えていますか。

町長 町有施設の節電は、勤務時間外や昼休みの消灯などで節電に

心がけています。

使用中の電力量が一目でわかる「デマンド監視装置」により庁舎・公民館・スポーツセンターの電気使用量状況・実態を把握しピーク電力を抑制するなどして節電対策をしました。

町有施設36カ所の節電対策を行った結果、過去3年間の平均電力量と比較して約5%削減されました。

また、町有施設に太陽光発電パネルの設置や省エネ型の照明器具への交換も含め、調査研究します。

河端 庁舎の冷房装置が使用不能となり、今年、暑さ対策として一部窓サッシを開閉式のものに取り換えましたが、その効果と今後の考え方は。

町長 平成20年6月に空調設備が故障し、その修繕に多額な経費が必要であり、財政的な問題などから、扇風機や冷風機を設置して暑さをしのいでいます。

今年度は、特に室温が高くなる2階の窓を3カ所開閉式サッシに取り換え、ある程度効果が確認されました。

今年の暑さも考えると、来庁する町民や職員員の健康も考慮して何らかの対応が必要と考えています。



増床が検討されている くんねっぶ静寿園

町長からの行政報告(要旨)・9月定例会

◆教育費指定寄付金について

8月29日、大町の住吉豊様から、今後予定される図書館増改築後の図書購入費に充てていただきたいとのことで、図書館に100万円の寄付がありました。

図書館では、ご寄付をいただきました住吉様のご意向等もお聴きしながら、増改築後の図書館において図書の充実を図るため有効に活用させていただきたいと考えております。

◆北見赤十字病院改築事業に対する負担金について

本年8月31日のオホーツク町村会臨時総会において、北見赤十字病院改築事業に対する負担金の額が決定されたとの報告がありました。

各市町村の負担割合については、各市町村の人口を基準としながらも、利用実態も一部考慮する地域格差の調整がなされています。

この結果、本町の負担金の額につきましては、人口割分で全体の2.95%の1,032万円に、地域格差の調整として191万7千円の合計1,223万7千円となりました。

所管事務調査を実施

総務文教、産業建設の各常任委員会では、議会閉会中も開催し、所管事務調査などの調査活動を行っています。

総務文教常任委員会

□7月11日(水)

○所管する事務について、担当者から提出された資料の説明を受け、調査を実施。

(調査項目)

入札執行状況/今後のまちづくり/町税の収納及び賦課状況等/国民健康保険事業の運営/各種福祉政策/児童生活館の運営/各種予防業務/保育園、幼稚園の運営/子育て支援センターの運営/温水プールの運営/図書館、歴史館の管理運営

□8月8日(水)

○訓子府静寿園を視察しました。
静寿園の入所状況及び今後の施設整備の考え方について説明を受けました。

産業建設常任委員会

□7月13日(金)

○所管する事務について、担当者から提出された資料の説明を受け、調査を実施。

(調査項目)

農業振興/堆肥供給センターの管理運営/畜産振興/温泉保養センターの管理運営/中小企業振興/町有林の維持管理/町営及び町有住宅の維持管理/建築及び土木工事の執行状況/道路、河川の維持/公園の管理/上水道事業の運営

□8月9日(木)

○所管する事務について、担当者から現地での説明を受け、調査を実施。
(調査項目)

○町営牧場の管理運営/公園の管理
○北見農業試験場を視察しました。
○商工会役員との意見交換会を実施しました。

議会広報研修会 (河端委員長・余湖委員)

八月二十三日、ポールスター札幌で約五百人が出席して議会広報研修会が開催されました。今年の講師はエディター、(株)ジェイクリエイト代表の城市創氏でした。城市氏は大学卒業後(株)ぎょうせいに入り法律解説や月刊誌などの企画編集、取材執筆を担当しその後独立し全国町村議会広報コンクール審査委員等を務めました。

研修会では「親しまれる議会広報づくり」と題しての講演と十二町村の議会広報についてのクリニックが行われました。

読者である町民の皆様には議会が決まった結果だけを伝えるのではなく、それが決まるまでのプロセスの公表によりその中身がより良く分かることが広報紙として大切な役割であるとの位置付けでした。

(余湖)

議会の主なうごき

8月

- 3日 高齢者スポーツ大会（議長）
- 4日 くねっぶ静寿園七夕納涼祭（議長）
- 8日 総務文教常任委員会（所管事務調査）
- 9日 産業建設常任委員会（所管事務調査）
- 12日 豊年盆踊り大会（議長）
- 17日 高知県津野町交流事業小学生交換留学生歓迎セレモニー（正副議長）
- 23日 議会広報研修会（札幌市：広報委員長・広報委員）
訓子府町ふるさと特別大使及びPR委員任命式（議長）
- 24日 全員協議会
高知県津野町交流事業小学生交換留学生離別式（正副議長）
- 29日 議会運営委員会
- 30日 産業建設常任委員会
- 31日 総務文教常任委員会

9月

- 7日 第61回敬老祭
（正副議長、総文委員長）
- 11~12日 第3回定例会
全員協議会
- 12日 議会広報特別委員会
くねっぶ静寿園敬老会（議長）
- 19日 陸上自衛隊美幌駐屯地第5旅団長着任歓迎会（美幌町：議長）
- 21日 秋の全国交通安全運動街頭パレード（全議員）
- 24日 姉妹町高知県津野町議会議員及び町長表敬訪問歓迎セレモニー（全議員）
- 26日 議会広報特別委員会
顕彰審議会（正副議長・総文委員長・産建委員長）
- 29日 総合防災訓練（全議員）

10月

- 4日 議会運営委員会
第3回臨時会
- 10日 議会広報特別委員会
- 16日 議会広報特別委員会
- 20日 網走管内スポーツ少年団交流剣道大会兼北海道スポーツ少年団剣道大会予選会（議長）
- 23日 北網ブロック町議会議員研修会（置戸町：全議員）
- 26日 産業建設常任委員会（所管事務調査）
- 27日 訓子府中学校学校祭（議長、総文委員長）
- 28日 訓子府小学校学芸会（議長、総文委員長）
- 30~31日 オーツク圏活性化期成会
秋季要望（札幌市：議長）

委員会の活動

総務文教常任委員会

□ 8月8日（水）

○ 所管事務調査

（調査内容11ページに掲載）

□ 8月31日（金）

○ 第3回定例会における議案の審査を行いました。

産業建設常任委員会

□ 8月9日（木）

○ 所管事務調査
（調査内容11ページに掲載）

□ 8月30日（木）

○ 第3回定例会における議案の審査を行いました。

議会運営委員会

□ 8月29日（水）

○ 第3回定例会における議案の審査を行いました。

□ 10月4日（木）

○ 第3回臨時会の議

案の審査を行いました。

議会広報特別委員会

□ 9月12日（水）

○ 「議会だより」第174号の問題提起、次号の掲載予定記事の確認を行いました。

□ 9月26日（水）

○ 第3回定例会での一般質問の原稿等を確認しました。
□ 10月10日（水）
16日（火）
○ 「議会だより」第175号の確認作業を行いました。

あとがき

訓子府では、交通事故が後を絶たない。昨年の死亡事故から一年も経たないのに、また、死亡事故。この他にも死亡事故につながる交差点での事故が増えています。今年になって自転車走行中の違反が全国で90件以上の摘発や違反がありました。7月に改正された自転車のマナー違反に絡む事故が後を絶たないので、取り締まりを強化すると言っています。訓子府でも安全教育を推進してほしいですね。

議会広報特別委員会

委員 安藤 義昭

議会広報特別委員会

- 委員長 河端 芳恵
- 副委員長 西山由美子
- 委員 佐藤 静基
余湖 龍三
工藤 弘喜
安藤 義昭
山本 朝英
小林 一甫
上原 豊茂
橋本 憲治